

第2回専門部会のヒアリング内容

資料1

【児童養護施設退所者】

意見を言うことについて	<ul style="list-style-type: none">意見を言えるかどうかは、年齢や職員との信頼関係による他の子供の前では話せないこともあった施設のルールを自分たちで話し合うことで不満が減った
意見を聴いてもらうことについて	<ul style="list-style-type: none">子供の意見を実現できない時は、時間をかけて丁寧に寄り添ってほしい言動を注意するだけでなく、どんな気持ちなのか聴いてほしい自分の気持ちを言えない子供には、職員が積極的に関わりを持つことが大切
意見を伝える相手・方法について	<ul style="list-style-type: none">意見や気持ちを伝えるには、信頼関係を構築できていることが大切相談内容によって話す職員を分けていた二人の時間を作る、交換ノートをするなど自分に合った手段で関わることで、普段は話せないことも伝えることができた第三者委員は日々の関わりがあまりなかったため、面談では緊張した。面談内容が記憶に残らなかった意見表明等支援員、職員、意見箱など意見を言う相手や方法を選択できると良い
その他	<ul style="list-style-type: none">「意見」を言うためには、子供が自分の気持ちに気がつき、どうしたいかを考え、誰に伝えるかを選択するサポートが必要職員から声をかけてくれたり、帰りが遅い時に手紙を書いてくれたりという日々の積み重ねが、自分のことを見てくれているという安心感につながった

【児童養護施設の第三者委員】

活動の中で困難を感じる点	<ul style="list-style-type: none">施設の苦情担当職員との情報共有にタイムラグが生じている子供と直接話をできるのは面談の時だけなので、もっと話ができる場を確保できると良い施設に提言した内容を、子供にどうフィードバックするかが課題
子供から多く聞かれる意見	<ul style="list-style-type: none">門限、おこづかい、携帯電話、インターネット、他の子供の言動に対する不満など、施設での生活に関する意見が多く聞かれる
その他	<ul style="list-style-type: none">子供たちと接する機会を多く作るため、顔写真入りのポスターを施設に貼ったり、行事に参加できると良い弁護士、学識経験者など異なる立場の委員を置くことが大切状況に応じてグループワーク形式としたり、子供の思いを引き出せるように質問の仕方を変えるなど工夫できると良い